



ボランティア活動の充実

本校では、今年度も多くの生徒たちが積極的に地域のボランティア活動に参加しています。現在までに七つのボランティア活動が行われ、延べ五十五名の生徒が参加しました。活動の機会や参加人数は、昨年度を上回っています。

参加した生徒たちに理由を尋ねると、「地域を盛り上げたいから」「地域の方とのふれ合いが楽しいから」「何かしたいと思ったから」など、さまざまな声が返ってきました。複数回参加している生徒もあり、ボランティア活動を楽しみにしている様子がうかがえます。

ボランティア活動は、まさに「生徒が思いやりや社会性を育む大切な学びの場」です。この経験を通して、自己肯定感や自己有用感も高まっています。

また、この取り組みは、本校の新たな伝統となりつつあります。今年最後のボランティア活動は、十二月十三日（土）に行われる「天草一周！あまいちグランフオンド2025」です。

東大生から学ぶみかん（1年生）

11月17日（月）、東大生の「みかん愛好会」から4名の学生さんをお迎えし、「苔北町のみかん」について学び、みかんの収穫体験を行いました。

みかんの種類やおいしいみかんの見分け方についても教えていただきました。収穫体験は山下果樹園さんで行い、実際に手で収穫することで、学んだことをより深く理解することができました。

苔北町では、袋掛け（みかん）によって糖度の高いみかんが生産され、ブランド化が進められています。苔北町の素晴らしさを学び、「苔北町が好き」になってくれる生徒が増えるとよいと思います。

新生徒会役員選挙の結果

新生徒会役員選挙の結果6名の新役員が決定しました。

立会演説会では、立候補者と応援者が、これからの苔北町や苔北中学校について考え、堂々と発表してくれました。その思いを忘れず、新しいことにチャレンジしてほしいと思います。また、生徒たちが安心して生活できる学校をつくってほしいと思います。

会長1人、副会長2人、書記2人、議長1人には、12月24日（水）に新役員任命書を交付し、公開します。



みかんの収穫体験



熊本日日新聞 2025年11月22日



生徒会役員選挙

登本 洋子先生の講演会 演題「ふるさと天草を愛し未来を創る子供を育てるために」

12月11日（木）午後3時より、苔北町市民ホール（志岐集会所）において、苔北町出身で東京学芸大学准教授・文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官を務めておられる登本洋子先生をお招きし、ご講演をいただくことになりました。登本先生は、全国の教育政策や学習指導要領の改善・充実に深く携わっておられ、日本の教育の今後の方向性について豊富な知識と現場に根ざした視点をお持ちです。当日は、最新の教育動向に加え、私たちの住む天草地域における教育や子育ての課題、そしてこれから子供たちに必要な学びや育ちについて、分かりやすくお話しいただく予定です。

私たち教職員は、苔北町の教職員研修の一環として参加いたしますが、今回は保護者の皆様にも広くご参加を呼びかけております。子供たちを取り巻く社会が大きく変化する中、学校と家庭が共に理解を深め、よりよい教育や子育ての在り方について考える貴重な機会となることでしょう。

ぜひ多くの保護者の皆様におこしいただき、天草の未来を担う子供たちのために、私たちができることと一緒に考える時間にしていきましょう。